

## 不法就労等外国人対策の推進（改訂）

令和 8 年 5 月 2 2 日  
警 察 庁  
法 務 省  
出入国在留管理庁  
厚生労働省

警察庁・法務省・出入国在留管理庁・厚生労働省は、これまでも我が国における不法就労等外国人問題について、これら各省庁の関係局部長を構成員とする不法就労外国人対策等関係局長連絡会議を設置し、不法就労等外国人に対する具体的施策の立案や、関係行政機関の連携強化策を講じてきた。

しかしながら、不法就労等外国人の態様は、時代とともに変化しており、昨今では、

- 偽変造の在留カード等を行使して、就労する事案
- 国内外のブローカーが介在するものを含め、表面上は正規の在留資格を有するものの、その実態は在留資格に応じた活動を行うことなく、偽装滞在して就労する事案
- 実際には条約上の難民に該当する事情がないにもかかわらず、誤用・濫用的に難民等認定申請を行い、就労する事案
- 技能実習生が、技能実習先から失踪し、SNS等を利用して他所で就労する事案
- 仮放免許可を受けた者や同許可を受けた後に所在不明となった者が就労する事案

など、実に多様化している。

我が国に在留し、就労するための手口が、時代の変化とともに悪質かつ巧妙化している現状において、不法就労等を企図する外国人や、これらを承知の上で不法就労等外国人を雇用して不法就労を助長し、その弱みにつけ込み労働搾取を図る悪質な事業者の存在は、我が国の労働市場に悪影響を及ぼすだけでなく、地下銀行を利用した不正送金等の犯罪インフラ事犯や人身取引事案の増加に拍車をかけることにつながりかねない。

こうした中、令和 7 年における外国人新規入国者数及び同年末現在の在留外国人数は、いずれも過去最高を記録しており、それに伴い不法就労等外国人も近年高止まりの傾向にある。

また、令和 6 年 6 月、技能実習制度に替えて、人材育成及び人材確保を目的とする育成就労制度を創設すること等を内容とす

る入管法等一部改正法が成立・公布されているところ、育成就労制度は、令和9年4月に施行するものとされていることから、今後も多くの外国人材の受入れが見込まれるため、外国人材を取り巻く雇用環境を引き続き注視していく必要がある。

この点、これまでも政府では、我が国を世界一安全で安心な国とすべく、令和4年に策定した「『世界一安全な日本』創造戦略2022」において、不法就労者及び不法就労助長者の取締りを強化するほか、不法滞在者及び不法滞在を助長するブローカーの取締りの強化を図ることとしてきた。また、同年に策定された「人身取引対策行動計画2022」においても、人身取引等の国際的な組織犯罪対策として、不法就労事犯に対する厳正な取締りを強化するとともに、不法就労防止のための広報啓発を推進することとしてきた。このように、政府全体を挙げて不法就労等外国人に対する取組を続けてきたところである。

加えて、出入国在留管理庁においては、不法滞在者など入管法の退去強制事由に該当する者を速やかに我が国から退去させるための対応策、「国民の安全・安心のための不法滞在者ゼロプラン」を公表し、被仮放免者の不法就労防止を含めた各種取組を強力に推進している。

さらに、政府においては、一部の外国人による違法行為やルールからの逸脱に対して国民が感じている不安や不公平感に対処等するため、本年1月、「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」を取りまとめ、この中には上記不法滞在者ゼロプランの強力な推進等や不法就労対策の強力な推進等が盛り込まれ、具体的には、不法就労助長者について、刑事処分の内容にかかわらず、積極的に退去強制手続を執ることや、不法就労の温床となっているとの指摘がある不適正ヤードについて、関係機関間の連携を強化することとされている。警察庁・法務省・出入国在留管理庁・厚生労働省としても協力関係を一層強固にして対応していく必要がある。

なお、令和3年3月から出入国在留管理庁が保有する在留管理情報と厚生労働省が保有する外国人雇用状況届出情報のオンライン連携が開始され、出入国在留管理庁における不法就労・偽装滞在の可能性のある失踪技能実習生の取締り等に活用するなど、デジタル化が進む社会の状況に応じて、情報の収集・分析機能の強化にも取り組んでいる。

今後も警察庁・法務省・出入国在留管理庁・厚生労働省は、不法就労等外国人を取り巻く現状認識を共有するとともに、関係行政機関においても、その連携を一層強固にし、より積極的に

対策に取り組むため、別紙のとおり、「不法就労等外国人対策の  
具体的内容（改訂）」を取りまとめ、不法就労やその助長の撲滅  
に向けた取締り、取締りの強化に向けた緊密な情報交換及び不  
法就労等防止に向けた広報・啓発活動及び指導の積極的实施に  
ついて、一層強力に推進していくこととする。